

令和7年度 ダイオキシン類大気常時監視結果

1 概要

川越市では、ダイオキシン類対策特別措置法第26条第1項に基づき、大気中のダイオキシン類による汚染の状況を常時監視しています。令和7年度は、市内5箇所で年4回調査を実施しました。

2 環境基準

環境基準：0.6pg-TEQ/m³以下

※基準値は、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算した値とする。

※基準値は年間平均値とする。

3 測定方法

ポリウレタンフォームを装着した採取筒をろ紙後段に取り付けたエアサンプラーにより試料を採取し、高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計で測定する方法。

4 ダイオキシン類大気環境調査結果

令和7年度の調査結果は、表1のとおりです。全ての地点で環境基準を達成しました。

表1 令和7年度ダイオキシン類大気環境調査結果 単位：pg-TEQ/m³

調査地点	ダイオキシン類濃度					環境基準
	春期 (5/21～ 5/28)	夏期 (7/16～ 7/23)	秋期 (10/9～ 10/17)	冬期 (1/7～ 1/15)	年平均	
芳野中学校 (石田本郷 733)	0.0097	0.0053	0.0086	0.041	0.016	0.6以下
広谷小学校 (下広谷 558-1)	0.0062	0.0067	0.0088	0.014	0.0089	
川越測定局 (宮下町 2-7-4)	0.011	0.013	0.0084	0.061	0.023	
川越南文化会館 (今福 1295-2)	0.011	0.0066	0.0063	0.029	0.013	
鯨井中学校 (鯨井 562-2)	0.0092	0.0064	0.0056	0.031	0.013	

5 大気環境調査経年変化

ダイオキシン類大気環境調査結果の経年変化は表2のとおりです。

表2 ダイオキシン類大気環境調査結果 単位：pg-TEQ/m³

調査地点	ダイオキシン類濃度					環境基準値
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
芳野中学校	-	0.022	0.016	0.014	0.016	0.6以下
広谷小学校	-	0.020	0.0090	0.0084	0.0089	
川越測定局	0.011	0.017	0.011	0.0093	0.023	
川越南文化会館	0.011	0.017	0.0090	0.011	0.013	
鯨井中学校	-	0.021	0.011	0.011	0.013	

※令和3年度は2地点でのみ調査を実施。

6 用語

(1) 環境基準

人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準。ダイオキシン類大気環境調査（年4回実施）と環境基準との比較は年平均値で行います。

(2) pg

ピコグラム。1兆分の1グラム。

(3) TEQ

毒性等量のこと。ダイオキシン類のそれぞれの異性体濃度を最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾーパラージオキシン（2,3,7,8-TeCDD：ダイオキシンの一種）に換算して合計したもの。